

【資料3】

平成28年度 へき地医療支援機構等連絡会議 グループワーク

平成29年1月30日(月)
厚生労働省専用第22会議室(18F)

【グループワークの目的】

- 1) へき地医療に関する「課題」を都道府県間で共有をする
- 2) 今後の具体的な取り組みの「方向性」について、都道府県間で情報交換を行う

【グループワークのテーマ】

以下の2テーマについて、ご議論ください

1. 第11次へき地医療計画を振り返り、積み残された課題について
当初掲げた目標の達成状況と積み残された課題など
2. 次期計画(医療計画と統合)の策定、実行を踏まえた方向性について
次期計画への移行上の課題、面(複数の機関)で支える取り組み、医師の養成やキャリアパスを踏まえた対応、地域医療支援センターとへき地医療支援機構との連携、隣県や市町村との協力体制など

【グループ分け/ファシリテーター】

第1グループ(北海道・東北)

都道府県：北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県

ファシリテーター：梶井

第2グループ(関東)

都道府県：茨城県、栃木県、群馬県、東京都、新潟県、山梨県、長野県

ファシリテーター：小谷

第3グループ(中部)

都道府県：富山県、石川県、福井県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県

ファシリテーター：井口

第4グループ(近畿)

都道府県：滋賀県、京都府、兵庫県、奈良県、和歌山県

ファシリテーター：今道

第5グループ(中国)

都道府県：鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県

ファシリテーター：前田

第6グループ(四国)

都道府県：徳島県、香川県、愛媛県、高知県

ファシリテーター：古城

第7グループ(九州)

都道府県：福岡県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

【資料3】

ファシリテーター：澤田

【グループワークの進行（計150分）】（司会 古城）

1) グループワーク全体の流れ、ならびに具体的事項の解説（5分）

- ・グループワークのテーマに関する解説をします

2) グループワーク：第11次へき地保健医療計画の振り返りと次期計画に向けて（90分）

- ・ファシリテーター、参加者の自己紹介をしてください
- ・グループ内で司会、書記、発表者を決めてください
- ・グループワーク終了後に各グループの議論について発表をお願いします

【グループワークの具体的な内容について】

（グループワークのテーマ）

1. 第11次へき地医療計画を振り返り、積み残された課題について（前半）
当初掲げた目標の達成状況と積み残された課題など
2. 次期計画（医療計画と統合）策定、実行を踏まえた課題について（後半）
次期計画への移行上の課題、面（複数の機関）で支える取り組み、医師の養成やキャリアパスを踏まえた対応、地域医療支援センターとへき地医療支援機構との協力、隣県や市町村との協力など

（グループワークの進め方）

グループワークのテーマについて研究班から提案いたします

テーマ1について各都道府県から報告してください

テーマ2（次期計画）についてご議論ください

次期計画に向けての課題と取り組みについて、お配りしている用紙にまとめ、全体会でご発表ください。

*ファシリテーターはグループワークの進行や議論の補助を行います。

3) 各グループからの発表（約50分）

グループワークの内容を各グループに発表していただきます

発表と質疑応答を合わせて6分とします（発表4分+質疑応答2分）

4) 全体のまとめ（5分）（梶井）